

別記

第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	平成30年 7月 31日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府八幡市上津屋西久保106番地	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 日本ルナ株式会社 代表取締役社長 伏見浩二

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001:2004
適 用 範 囲	本社・京都工場及び関東工場及び首都圏事務所
導 入 年 月 日	2006年 8月29日
認 証 番 号	JP09/070757
基 本 方 針	事業活動全般の環境影響評価を行い社長は環境方針、目的、目標を定め、法規制、条例等、及び本社、工場として受け入れを決めたその他の要求事項を遵守し、更に自主的運用基準も加え環境保全活動に取り組みます。地域社会との強調、融和を図り地域の環境活動への参加を通じて環境保護に協力します。環境に関する教育、社会活動を実施し、従業員の環境方針の理解と環境に関する意識の向上を図ります。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	CO2削減 2014年度比で2018年度までに年平均3%削減
目標を達成するための取組の内容	空調の適温化（冷房28度程度・暖房20度程度）で実施・クールビズ実施・生産体制の見直しを実施・高効率の照明機器に更新、受電設備内変圧器の更新も進めていく。
目標を達成するための取組の進捗状況	平成30年1月に受電設備内変圧器（500KVA）を更新 同年2月（500KVA）・3月にも（750KVA）の変圧器更新を実施した。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	計画通りに取り組むことが出来ている
事業活動に係る法令の遵守の状況	月1回環境会議を開催し、その中で法令の遵守状況の確認を行っている。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しの必要性については、1年に1回検討している。 前年度に続き、取組の妥当性を評価・確認し、継続して環境マネジメントシステムの運用を行っている。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。